

フロイント産業株式会社

株主通信

2021年2月期 **通期**

(2020年3月1日～2021年2月28日)

株主の皆様へ

第8次中期経営計画初年度の2021年2月期(以下「21/2月期」)は、世界中がコロナ禍に翻弄されるなか、「世界中の人々の医療と健康の未来に貢献する」という当社グループの経営ビジョンの重要性を再認識する一年となりました。

代表取締役社長

伏島 巖



21/2月期の事業活動レビュー

機械部門

医薬品分野

コロナ禍に加え、薬価引下げという厳しい環境下にあった日本市場ですが、ユーザー視点に立った営業活動の強化が奏功し、製薬メーカーの設備投資需要を受注につなげることができました。さらに、2019年9月新設のカスタマー事業本部において、営業部門とサービス技術部門が密接に連携し、コロナ禍においても納期通りの納品を実現できたことで、計画通りの業績を達成することができました。

海外市場では、コロナ禍により、インドや欧米などで営業活動が大きく影響を受けましたが、いち早く経済活動を再開した中国では、フロイント産業、ならびに中国の代理店2社の営業努力が過去最大の売上高につながりました。

非医薬品分野

主要顧客市場である化学業界、電池業界がコロナ禍の影響を受けましたが、同業界からもコロナ禍の収束を見据えた受注が入り始めており、2022年2月期(以下「22/2月期」)以降の業績回復が期待されます。

化成部門

医薬品分野

日本市場では一部顧客メーカーに対する販売減の影響がありましたが、海外市場では中国市場での需要拡大や国内製薬メーカーによる海外工場への生産移管に応える輸出増を受け、計画を上回る着地となりました。一方で、日本市場においても新規受注が積み上がっており、22/2月期以降に向けた売上基盤強化を着実に進めております。

非医薬品分野

インバウンド需要やデパート、テーマパークなどへの販売減で、食品品質保持剤事業がコロナ禍の影響を大きく受けました。

世界五極体制を通じたグローバル化推進に向けて

2020年11月、当社はイタリアの医薬品等製造機械装置メーカーのCos.Mec S.r.l.(本社：イタリア・ミラノ、以下「コスメック」)を完全子会社化いたしました。また、同年12月、中国の代理店一社とFreund-Chineway Pharmaceutical Technology Center Co., Ltd.(所在地：中国・上海市、以下「FCセンター」)という技術開発研究所設立のための合弁契約を締結いたしました。

これにより、日本(フロイント産業)、米国(フロイント・ベクター)、欧州(コスメック)、インド(パルレ・フロイント)の四極体制で、22/2月期中には中国(FCセンター)を含む五極体制で、新興国を含む全世界のカバレッジを高めてまいります。

このように、より広範なグローバル展開のための事業基盤を確保できた現在、重要なのが経営ビジョンにある「世界中の人々の医療と健康の未来への貢献」、「豊かな生活と食の安全・安心を支える技術の創出と育成」だと考えています。コロナ禍という今こそ、大切なこの価値観の実現をグループが一丸となって推進し、真のグローバル化を目指したいと考えています。

グローバル五極体制に向けた取り組み

日本、米国、インドに加え、欧州にグループ会社が仲間入りしました。
22/2月期中には中国にFCセンターを開設し、新たなグローバルネットワークを通じて世界の主要製薬市場へのアクセスを強化します。

コスメックのグループ入りの概要と今後の方向性

1991年設立のコスメックは独立系の中堅製剤機械メーカーで、機械メーカーが集積するミラノ郊外に本社を構えています。同社は、原料や中間材料を運ぶ、秤量混合する、またプロセス装置を洗浄するなどの、製剤の付帯的工程を担う搬送装置を中心に成長してきましたが、約10年前から、当社が手掛ける造粒や乾燥といったプロセス装置にも参入しています。

欧州には、グラットやゲアといったグローバル大手の製剤機械メーカーが存在します。そのような競争環境のもと、同社は、中核工程間をつなぐ付帯的工程を担う製品にイタリアのデザインを寄せ、イタリア国外、欧州圏外に販売する戦略を進めてきました。

この結果、20/12月期の欧州圏外の売上高比率は61%、内訳は中南米が35%(メキシコ、コロンビアなど)、アジアが13%(バングラデシュなど)、中東6%(サウジアラビア、UAEなど)、アフリカ7%(エジプトなど)となっています。顧客も製薬グローバル大手に次ぐメーカー層となっているため、機能的なが

ら安価なものづくりの力も積み上げています。

コスメックのグループ入りにより、当社グループの展開地域、製品群が大きく広がりました。今後は、市場に適したより良い製品の提供やメンテナンスを含めたサービスの地域対応、質の高い現地エージェントの開拓を行い、グループ事業基盤の最適化を図ってまいります。

中国における技術開発研究所の設立について

22/2月期開設予定のFCセンターは、中国国内において当社製の機械装置と医薬品添加剤の双方を取り扱う研究施設です。2015年に始まった中国政府による薬事制度改革のもと、GMP(医薬品の製造管理及び品質管理の基準)に基づく製造プロセスと添加剤は必須の要素となっています。この流れのなか、中国製薬企業の製品開発サポートを強化するとともに、当社の機械・添加剤製品を一括テストすることで、当社製品の認知度向上につなげてまいります。



イタリア
コスメック本社の外観(左)
同社 製造工場(右)

ESG トピックス

2021年5月28日付で、取締役、監査役体制を一新いたしました

2019年9月より始動した新本部制及び執行役員制度のもと、各本部長ならびに主要子会社社長を当社の執行役員に任命し、連結経営の強化を進めてまいりました。22/2月期以降はトップマネジメントだけでなく、事業の現場に至るまで『ONE FREUND』の価値観、グループ一体意識を定着させる経営を強化してまいります。

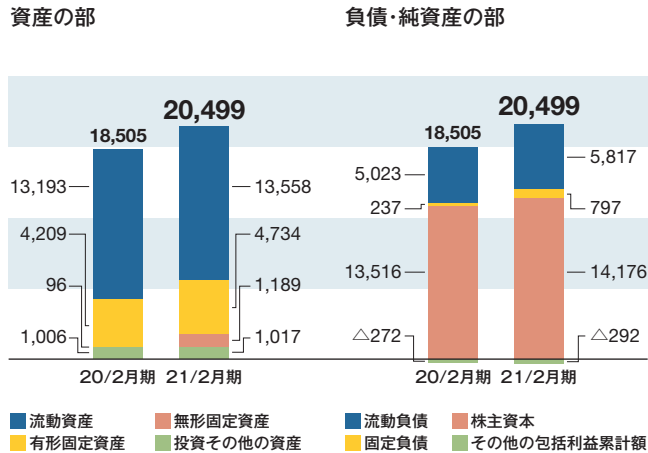
その一環で、22/2月期より取締役、監査役体制も一新いたしました。社内取締役として、新規事業を含めた経営企画を担う若井正雄が常務取締役に、ユーザー視点の事業推進を担う本田稔昭が取締役に就任いたしました。また、新任社外役員として永年製薬業界に従事し、グローバル経営にも精通した田中尚氏、事業会社におけるグローバルな法務経験もある弁護士の前田和成氏を招聘いたしました。

新体制のもと、ガバナンス強化やリーダー人材の育成に加え、グローバルな事業基盤の強化を図ってまいります。

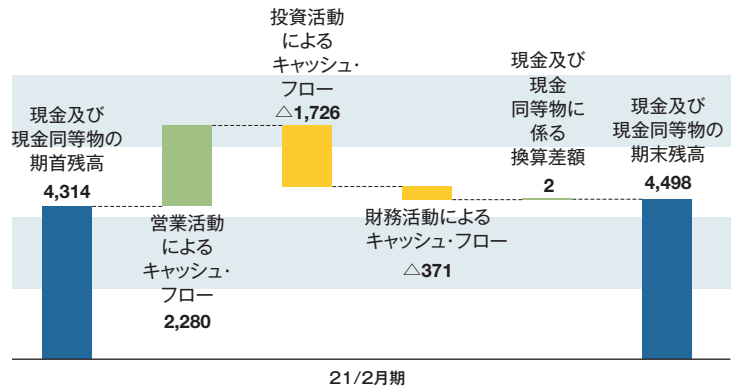
	21/2月期	22/2月期
取締役 (うち社外取締役)	5名(3名)	5名(2名)
監査役 (うち社外監査役)	4名(4名)	3名(3名)
役員 (うち女性役員)	9名(1名)	8名(1名)

FINANCIAL INFORMATION 財務情報

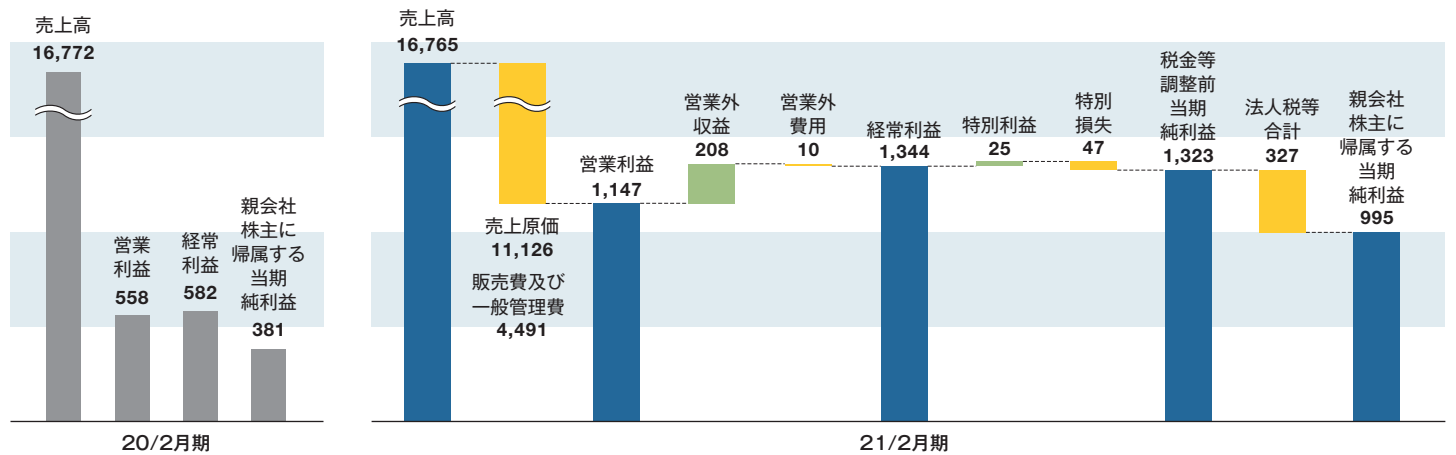
連結貸借対照表 (百万円)



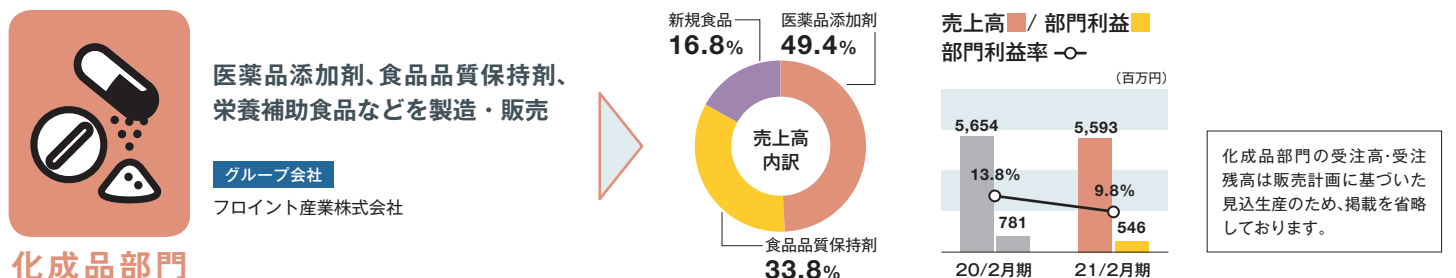
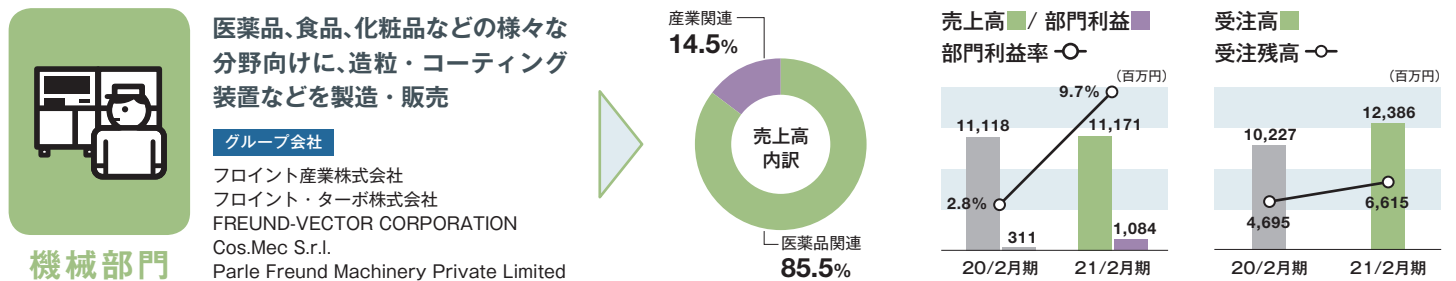
連結キャッシュ・フロー計算書 (百万円)



連結損益計算書 (百万円)



REVIEW OF OPERATIONS 事業概況



会社概要

商号	フロイント産業株式会社	本社所在地	東京都新宿区西新宿6丁目25-13 フロイントビル	名誉会長	
英文商号	Freund Corporation	ホームページ	https://www.freund.co.jp	名誉会長	伏島 靖豊
設立	1964年4月22日			役員	
資本金	10億3,560万円			代表取締役社長	伏島 巖
事業の概要	医薬品、食品、化学等の業界向け造粒・コーティング装置及びプラントエンジニアリングと医薬品添加剤、食品品質保持剤、栄養補助食品等の開発・製造販売	グループ会社	【日本】 フロイント・ターボ株式会社 粉粒体機械装置の研究開発、設計及び製造・販売 【アメリカ】 FREUND-VECTOR CORPORATION 粉粒体機械装置の製造・販売 【イタリア】 Cos.Mec S.r.l. 医薬品等製造機械装置の製造・販売 【インド】 Parle Freund Machinery Private Limited 医薬品等製造機械装置の製造・販売	常務取締役	若井 正雄
従業員数	484名(連結)			取締役	本田 稔昭
				社外取締役	中竹 竜二
				社外取締役	田中 尚
				常勤監査役	平野 栄
				社外監査役	泉本 小夜子
				社外監査役	濱田 和成

(2021年5月末現在)

STOCK INFORMATION 株式情報 (2021年2月28日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式総数	18,400,000株
株主総数	15,713名

大株主の状況

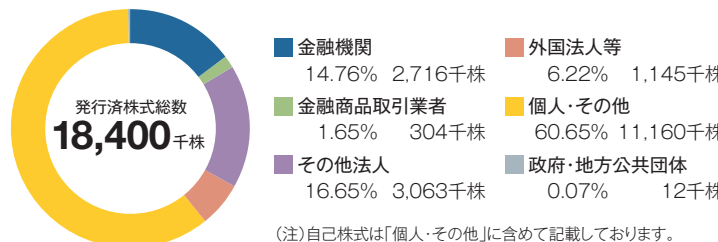
	持株数(千株)	持株比率(%)
(株)伏島揺光社	1,648	9.84
伏島靖豊	1,256	7.50
(株)三菱UFJ銀行	836	4.99
(株)三井住友銀行	744	4.44
(株)大川原製作所	673	4.02
PERSHING-DIV. OF DLJ SECS. CORP.	503	3.00
フロイント従業員持株会	401	2.39
(株)静岡銀行	368	2.19
明治安田生命保険相互会社	360	2.14
QUINTET PRIVATE BANK (EUROPE) S.A. 107704	321	1.92

自己株式1,655千株(9.00%)を保有しております。
持株比率は自己株式1,655千株を控除して計算しております。

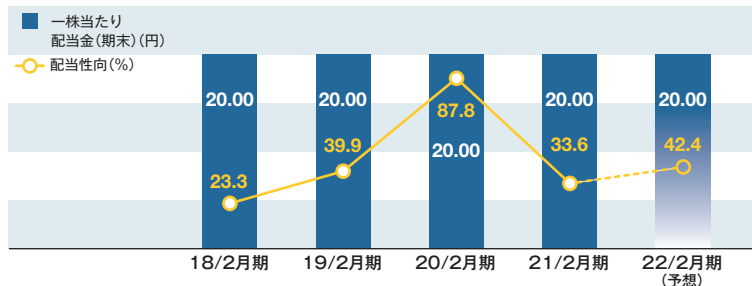
株主メモ

事業年度	3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月開催
株主確定日	定時株主総会・期末配当金 2月末日 (中間配当を実施するときの株主確定日は、8月31日)
株主名簿管理人 同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	〒183-0044 東京都府中市日鋼町一丁目1番地 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)

所有者別株式分布状況



配当金・配当性向の推移



郵便物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告の方法により行います。 公告掲載URL (https://www.freund.co.jp) ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

フロイント産業株式会社

この株主通信に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

○経営企画本部 経営企画部 03(6890)0767 ○URL https://www.freund.co.jp

